

第2学年 国語科 学習指導案

指導者 千早赤阪村立赤阪小学校 中原 彩乃

研究主題

「意図を深く汲み取りながら思考し判断し表現する力を養い
粘り強くチャレンジし続ける態度の育成」

※今年度の重点テーマに_____を引いています。

1. 学年・組 千早赤阪村立赤阪小学校 第2学年1組（9名）

2. 単元名（教材名） 行ってみたい場所を 話し合おう（みんなで話し合おう）

3. 単元の目標

「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
（◎A(1)オ）【思・判・表】

4. 本単元で取り上げる言語活動

- *自分の行ってみたい場所と理由を話す
- *友だちに話して考えを深める
- *友だちの話の良さに気づき感想を伝える

5. 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 (◎A(1)オ)	進んで互いの話をよく聞いて、言葉をつなぎながら、学習の見通しを持って尋ねたり、応答したりするなどして、グループで話し合おうとしている。

6. 単元設定の理由について

本学級の児童は、学習の見通しを持つことで安心して学習に取り組む傾向が強く、学習の流れがわかると意欲的に取り組むことができる。また、みんなで協力して周りの人にかっこいいところをみせたいという思いや、全力で頑張ろうとする姿がみられる。

「たからものをしょうかいしよう」では、あいづちや返事の仕方を練習してきた。どうしたら相手が話やすいか、どうしたら会話が繋がるかを考えながら、聞く態度や話し方を身に付けてきた。初めは思うように話せない

こともあったが、繰り返し練習することで表現や声の出し方に意識が向き、人の目を見て話そうとする姿が見られるようになっている。リアクションシートなどを用いると視線が下に向いてしまうこともあるため、例えば自己紹介活動では、聞き手の児童に話す内容の書いたカードを持たせ、それを見ながら話すことで相手の方を見てやり取りできる工夫を重ねている。

本単元では、「行ってみたい場所」という身近で興味を持ちやすい題材を扱うことで児童が自分の経験や思いをもとにした意欲的な発言に繋げていきたいと考えた。やり取りを通して互いの良さを認め合いながら伝え合う楽しさを感じられるようにしていきたい。

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。【思・判・表】

(2) 本時の評価規準と想定される児童の姿

A 十分満足できる姿	B 概ね満足できる姿	C 支援が必要な姿と支援法
理由や具体的なエピソードを順序だてて話している。 話に関心を持ち、相槌や復唱など適切な受け答えをしながら話をつなげている。	互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	話すことに不安が強い子には、友達や先生に代わりに読んでもらったり、メモをもとに話したり、文字に書いて伝えたりする。

(3) SE のテーマを意識した本時の目指す子ども像

本時では、相手の話をしっかり聞こうとする姿勢や、苦手なことにも粘り強く取り組もうとする姿を育てたい。スモールステップで取り組める活動を重ねることで、着実な達成感を味わい、「できた」という自信を持って学習に向かう児童の育成を目指す。

(4) 本時の学習過程 (2 / 2 時間)

時 間	学習活動 (○) 研究主題に関わる場面 (◎)	教師の支援 (○) 評価規準及び評価方法 (☆) その手立て (※)
2 分	○前時のふりかえり ○本時のめあてを確認 <div data-bbox="228 427 1182 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【めあて】行ってみたい場所を話したり、質問したりしよう。 </div>	
3 分	○話し合いの大切なことを確認 ○自分の行きたい場所と理由を確認	
10 分	○ペアで話し合い、質問や感想を返す	○質問例や発表のアドバイス、声の大きさのフォロー ☆「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 <div data-bbox="1259 965 1433 999" style="text-align: right;">【思・判・表】</div>
10 分	◎中間発表 上手にできているペアを見て、良かったところを考える	※上手に話し合いができているペアに見本をさせる。そしてより良い話し合いができるように粘り強くチャレンジさせる。 ○発表の時間の調整、声が小さい子へのフォロー
15 分	○再びペアで話し合い、質問や感想を返す	○質問例や発表のアドバイス、声の大きさのフォロー ☆「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 <div data-bbox="1259 1635 1433 1668" style="text-align: right;">【思・判・表】</div>
5 分	○振り返り：手を挙げて今日の学びやできたこと、次に頑張りたいことを発表する	○発表の声を調整し、声が小さい児童には個別で声掛け